

SHIRATAKA
PUBLIC
RELATIONS

し
ら
た
か
広報

1.15
JAN 2018
NO.1224

謹賀新年



寿

「皆様と英知を結集し
町民が輝くまちへ」

白鷹町長 佐藤 誠七



新年

あけましておめでとうござ
います。皆様におかれまし
ては、健やかに新年をお迎えのことと
お慶び申し上げます。

町では平成29年7月に、現在の中央
公民館、図書館、役場庁舎機能に加え
災害時の対策本部など多様な機能を合
わせ持つ、木造の「まちづくり複合施
設」の整備工事に着手しました。この
施設の整備につきましては、これまで
町民の皆さんとともに作り上げてきた
ものであり、そして、町の木を使うシ
ステムの構築は対外的にも誇れるもの
であると考えております。平成31年度
中の完成に向け、引き続き皆様のご理
解とご協力を賜りながら、今後の「ま
ちづくりの顔」となる施設になるよう
整備に取り組んでまいります。

さて、現在の町政運営につきまして
は、町が向かうべき方向及び将来像等
を描いた「第5次白鷹町総合計画」に
基づき取り組んでいるところです。「子
育て・教育」「雇用・産業」「地域」「防
災」の4本柱を重点施策に掲げ、さら
に地方創生総合戦略に掲げております
政策パッケージとして6つのプロジェ
クトを中心に展開しておりますが、施
策の実施状況を確認しながら新たな施
策の展開にも取り組み、将来像の実現

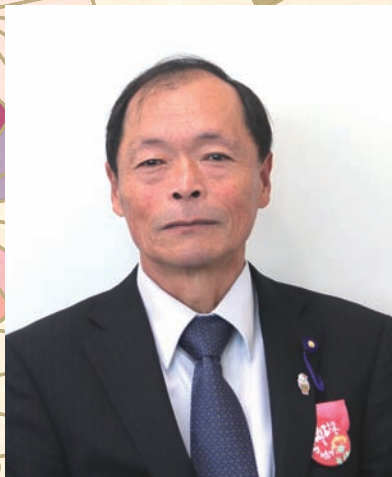
を目指してまいります。

また、まちづくりを計画的かつ効果
的に推進するための「白鷹町振興実施
計画」を策定し、特に人口減少に対す
る緊急的な対策をスタートさせてまい
ります。日本全体が人口減少に向かう
現状において、先を見通し、どのよう
な施策を講じていくかということは非
常に難しいことではありますが、困難
化する課題に対し行政の役割を的確に
捉え、町民の皆様と一緒に英知を結集
し対応することで「共創のまちづくり」
を進めてまいります。

さらに、本年も引き続き、子育てし
やすい環境づくりをはじめ、保健・医
療・福祉の充実、安心・安全の確保な
どに努め、地域づくりの主役である町
民の皆様一人ひとりが輝ける白鷹町を
築いてまいります。

そして、今後も地方創生の理念のも
と、人口減少を可能な限り抑制するこ
とで持続可能なまちづくりを進め、町
の将来像である「笑顔かがやき 心か
よう 美しいまち」の実現に向けて全
力を尽くしてまいります。

結びに、本年が皆様にとりまして実
り多き一年となりますよう心からご祈
念申し上げ、年頭のごあいさつといた
します。



「開かれた議会づくりで 町政をもっと身近に」

白鷹町議会議長 遠藤 幸一

新年

あけましておめでとうございます。町民の皆様には、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、日ごろより議会活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年も、全国各地で集中豪雨や台風被害などに見舞われました。幸いにして我が町には、特筆すべき災害等は無く安堵しているところです。

さて、少子高齢化の中、本町では第5次白鷹町総合計画後期基本計画並びに地方創生の総合戦略等に沿って、日本の紅（あか）をつくる町推進事業など特色ある各種施策の取り組みを行っております。しかし、最近の出生数を見ると少子化が急激に進行しており、これからのまちづくりに大きく係わる重要な課題となっております。一朝一夕に解決できる特効薬はなく、総合的かつ継続的に取り組んでいかなければならないものと感じております。一方、まちづくり複合施設や新荒砥橋などの大規模事業が目に見えて着実に進んでおります。それらソフトとハードが調和し効果ある施策が展開されるよう、二元代表制の意義を踏まえ議会のチェック機能を強化していかなければなりません。

そのような中、今般、「少子・高齢社会における対応」など4項目にわたる政策提言を議会の総意としてまとめ、町長に提出したところです。

また、ホームページで会議録や政務活動費の内容について公開したり、議会中継をスマートフォンやタブレット端末からご覧いただけるようにするなど、「開かれた議会」づくりに努めております。そして昨年6月定例会には、定数を2削減し12名とする議員定数条例を可決したところであります。

今後も、議会の情報公開や説明責任を果たし、議員のなり手の確保や町民の皆様が町政に参画しやすい環境整備など、さらなる議会の活性化に取り組むとともに議論を深め、住んでみたい、住んで良かった、住み続けたいと思われるまちづくりにまい進する所存でありますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、町民の皆様方のご健康とご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。





2017 News

BEST 10

まちづくり複合施設等整備工事 いよいよスタート

まちづくり複合施設の起工式が行われ、整備工事がスタートしました。施設は延床面積約 4,600 m²で、地元産材を活用した木造 2 階建て。平成 31 年 4 月の供用開始、平成 32 年 1 月末の工事完了を目指して整備が進められています。



積極的な木育の推進を図る

町の 9 カ月児健診を迎えるお子さんに、町産スギを使った積み木を贈る事業がスタートしました。積み木は、白鷹町産木材加工研究会が製作。贈呈式に先立ち、佐藤町長が「木育の推進」を宣言しました。



白鷹町で熱戦！インターハイ開催

全国高等学校総合体育大会の女子ソフトボール競技が、4 月に竣工されたばかりの町ソフトボール場・野球場で行われました。町からは青木菜々さんと今野りおんさんが米沢中央高校の選手として出場しました。



安全安心なまちづくり町民大会を初開催

安全で安心な住みよい地域社会の実現に寄与することを目的とした「白鷹町安全安心なまちづくり町民大会」が初開催されました。参加者は、大会を通して交通事故や災害等に対する理解を深めました。



ふるさと納税の人气が上昇中

開始から 10 年目を迎えた白鷹町の「ふるさと納税」。昨年度の寄附金額の総額は約 1 億 1,400 万円でしたが、今年度は 12 月 31 日時点で約 9,600 万円と昨年度をさらに上回るペースで伸びています。



地域で繋ぐ



新たに二十歳の門出。
白鷹が「マシ」なイベント



町の防災体制のさらなる充実 新たな消防署白鷹分署が完成



昭和 47 年から永年にわたり町の防災の中心として機能してきた旧西置賜行政組合消防署白鷹分署が、建物の老朽化に伴い新築されました。分署棟は、白鷹産材を最大限活用した木造 2 階建て。町の新たな防災拠点として機能しています。



新入学児へオリジナルランドセル贈呈

児童の新入学を祝うとともに、保護者の経済的負担を軽減することを目的とした「ランドセル贈呈事業」が始まりました。ランドセルは、町内でかばんの製造を行っている「らんどーる山形」が製造しています。



「白鷹創生」へのアイデアがカタチに

白鷹中学校 3 年生のアイデアによるべにたかちゃんの顔出しパネルが制作されました。現在は、パレス松風、道の駅しらたかヤナ公園、荒砥駅前に設置されているほか、各イベント会場などに設置されています。



2017 年 10 大ニュース

しらたか



あか「日本の紅をつくる町」が今年も日本一

県産紅花加工品の収納検査が 8 月に行われ、白鷹町は紅餅 122.3kg、乱花 36.2kg、すり花 2.0kg の計 160.5kg を出荷。県全体の 66.8% を占め、平成 29 年も紅花生産日本一となりました。



重要文化財の深山観音がリニューアル

国指定文化財観音寺観音堂（深山観音）の茅葺屋根の全面改修工事が終了し、新しく生まれ変わりました。なお、平成 28 年度には参道の登り口付近に駐車場と公衆トイレが整備されています。

平成 29 年度 白鷹町 青少年国際交流事業

文化の異なる海外で学習する機会を設けることにより、次代を担う「グローバルな人材」を育むことを目的に実施している「白鷹町青少年国際交流事業」。3回目を迎えた今年度も、白鷹中学校3年生8人と荒砥高校2年生4人が白鷹町から世界に目を向け、町内の中高生を代表し海外短期留学を行いました。

研修生たちは、渡豪の前に英会話と海外の文化についての学習や、あらためて白鷹町を知るための事前研修を実施。その後、11月6日～11日の日程でオーストラリアのケアンズへ渡りました。

現地では、「Cairns State High School」（ケアンズ州立校）の学生たちとの交流学习や2泊3日のホームステイ、世界遺産の見学などを通して、これまで経験したことのない異文化へ果敢に挑戦。白鷹町との違いを肌で感じながら、あらためて「目を世界に、心ふるさと」の意味について考えました。

そして、オーストラリアから帰国した研修生たちは、事後研修会を経て研修の成果を振り返りました。昨年、一昨年と先輩研修生の報告を聞き、大きな期待を胸に海を渡った今年度の研修生たちは、今度は自分自身が研修で得たモノや感じたコトを伝える立場となり、堂々とした表情で町長や町の教育関係者の前に立ちました。

世界に目を向けた12人の子どもたちは、研修を通してどのような「変化」を感じたのでしょうか。そして、自分自身の「変化」を通して見えてきたものとは――。



Change my world ～世界を見た先に～



～目を世界に、心ふるさと～
白鷹町青少年国際交流事業





それぞれの変化と思い ―



Sasuke Hayasaka

早坂 颯翼さん
(白鷹中3年)

ホームステイでは、最初は緊張のせいであまり話すことができませんでした。二日目は自分から話しかけることができました。また、学校訪問でも会話にジェスチャーを交えるなどにかくがんばりました。

英語のみの会話はとても大変でしたが、「恥ずかしがらずに言えば伝わる」ことを学び、チャレンジしてみても良かったです。これからも、伝えたいことは積極的に伝えられるようにがんばります。



Risako Konno

紺野莉咲子さん
(白鷹中3年)

将来についてホストファミリーと語り合ったことで、自分がこれから何をしたいのかをより強く考えるようになり、それを何かしらの形で白鷹町の将来に生かしていきたいと思いました。

また、研修を通して白鷹町との違いもたくさん発見できました。将来は外国で働きたいと思っていましたが、それよりも白鷹町や日本の良さを外国に伝えられる、“日本と外国のかけ橋”となるような仕事をしたいとも感じました。



Toshiaki Kobayashi

小林 利貴さん
(荒砥高2年)

「オーストラリアの教育環境を学ぶこと」と「オーストラリアの人々がどのように生活しているのかを知ること」を目標に研修に臨みました。

今回の研修を通して、「物怖じせずに物事に取り組む」という面で大きく成長できたと思うし、自分のストロングポイント（長所）にもできたと思います。今回感じたことを胸に、視野を広げて今後の生活のあらゆることに挑戦していきたいと思っています。

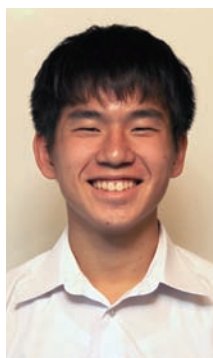


Ayane Oyabe

小谷部彩音さん
(荒砥高2年)

以前までの私は、自分にできないと思うことは避けてきました。しかし、不安を乗り越えて現地の人たちと会話をしていくうちに、“結果にかかわらず、まずやってみる”という気持ちが強くなり、物事に対する視野も広がりました。

将来、今回の研修が実を結ぶような活躍ができるよう、今からたくさんの方に挑戦して多くの知識を身に付け、人として大きく成長できるようにがんばります。



Kosuke Sugawara

菅原 光翼さん
(白鷹中3年)

今回の研修で変わったことは「自分から」の力（積極性）です。以前までの私は、自分から相手に話しかけたり意見を述べたりすることは苦手でしたが、ホストファミリーや現地の学校の生徒に積極的に話しかけたことで、今までの自分とガラッと変わることができました。

今回の研修の成果をここで終わりにせず、これからの学校生活、そして人生に生かしていきたいです。



Nichika Watanabe

渡部二千花さん
(白鷹中3年)

研修を通して白鷹町とオーストラリアの違いをたくさん発見でき、テーマでもある「目を世界に、心ふるさと」の大切さを実感することができました。

また、学校訪問では現地の生徒たちの授業に対する積極性に驚きました。これは今の白鷹中生に足りないところだと思うので、研修生としてまずは自分から行動し、伝えたいことははっきり自分の口で伝えることの大切さを皆にも伝えていきたいと思っています。

世界に目を向けた 12 人。



Mizuki Kan

菅 瑞希さん
(荒砥高 2 年)

自分の英語力を磨くことを目標に研修に取り組みましたが、会話の内容が理解できない場面が多く、とても悔しい思いをしました。それでも、話した内容がきちんと相手に伝わったときはとてもうれしく、自信につながりました。

この研修は、白鷹町とオーストラリアとのつながりを深めることのできる良い機会だと思います。研修を通して得たモノをしっかり町民の皆さんに発信できるようにがんばりたいです。



Kai Higuchi

樋口 凱さん
(白鷹中 3 年)

知らない土地で知らない人と積極的にコミュニケーションをとろうとした結果、以前よりも“自分から”相手に話しかけることができるようになりました。

また、町を離れてみないとわからない白鷹の良さをたくさん見つけることができたし、あらためて白鷹は良いところだと実感できました。この研修で学んだたくさんしたことや、身に付けたたくさんの力を、これからの生活にしっかり生かしていきたいです。



Mariko Wada

和田麻里子さん
(白鷹中 3 年)

研修を通して一番強く感じたことは、「挑戦する気持ち」と「目を世界に、心ふるさと」の大切さです。今までは日本のことしか見えてきませんでしたが、世界に目を向けることで新たな発見がたくさんあり、おもしろいと感じました。

また、研修を通して白鷹の良さを再発見することができたとし、自分自身、一回りも二回りも大きく成長することができました。これからは、さらに広い世界にも目を向けていきたいと思っています。



Mizuki Yokoyama

横山 瑞季さん
(白鷹中 3 年)

研修を通して物事を客観的に見る力がつき、また、グローバルな視野で物事を考え、判断し、行動できるようになったと思います。

将来の白鷹町を担っていく私たちが、もっと町の良さを知り、興味を持つことが大事だと思います。そこでこれからは、特に「好奇心」を持って生活していき、何事も一つの方向から見るのではなく、いろんな考えを持っていきたいです。そして将来は、国際的に活躍できる人間になりたいです。



Mei Umetsu

梅津 芽依さん
(荒砥高 2 年)

前回の研修に参加した先輩から「悔いが残らないように」とアドバイスをいただいていたので、現地の人に積極的に話しかけることができ、白鷹町のことを広めることができました。

初めての海外ということで、すごく不安で、さらに町の代表という責任を感じ緊張していましたが、以前までの自分を変えてくれた最高の研修になりました。今回の経験を、これからの人生に存分に生かしていきたいと思っています。



Mahiro Ogata

小形 茉央さん
(白鷹中 3 年)

オーストラリアに行く前は、白鷹町は田舎で何もなくてつまらないという印象がありました。しかし、実際に現地に行くことで互いの土地の良いところや悪いところを発見することができました。

また、研修を通して、“伝えたい”という気持ちが強ければ相手にちゃんと伝わるということがわかりました。これからは、しっかりと世界にも目を向けて視野を広く持ち、白鷹町のためになることを探して、協力していきたいです。

技能五輪全国大会 佐藤由菜さんが洋裁職種で金賞

11月24日～27日にかけて栃木県で開催された「第55回技能五輪全国大会」において、白鷹高等専修学校研究生2年の佐藤由菜（長井市）さんが洋裁職種で金賞を受賞しました。

技能五輪とは、青年技能者の技能レベルの日本一を競う大会であり、今大会の洋裁職種には全国各地から24人が出場。前回大会に続く2回目の出場となった佐藤さんは、「制限時間内に終わらせることで精一杯

だった」という昨年の悔しい思いを胸に一年間練習を重ね、自信を持って今大会に臨めたと言います。それでも、「まさか金賞をとれるとは思っていなかったの」で、名前が呼ばれたときには本当に驚いた。何かの間違ひではないかと思つた」と当時の瞬間を振り返りました。

大会を通し、学校の先生や先輩とコミュニケーションをとることで「人間的にも成長できた」と話す佐藤さん。「これがスタートととらえ、これからさらに勉強して服飾関係の道を進んでいきたい」と笑顔で意気込みました。

①喜びの報告に来庁した佐藤さん（左から二人目） ②大会で佐藤さんが制作した作品



堂々とした発表で来園者を楽しませた園児たち

みんなを楽しく笑顔に！ ひがしね保育園園児が特別発表会

ひがしね保育園では12月13日、白光園デイサービスの利用者と東根地区の未就園児からお年寄りの方を招き、園児たちが発表会を行いました。

この日は、2歳児から年長児まで全員が出演。かわいらしいサンタクロースの衣装や、おむすびの被り物

を被り、劇や遊戯、合奏などを披露しました。発表会を見に訪れた25人のお客さんは、元氣よく楽しそうに発表する園児の姿に「一生懸命さに涙が出た」「自分の子どもや孫が小さかったころのことを思い出した」と話しながら、園児たちを優しく見つめました。

古典桜の守り人を紙芝居に—— 置賜地区自作視聴覚教材コンクールで特選

12月10日、平成29年度置賜地区自作視聴覚教材コンクール表彰式が南陽市えくぼプラザで行われ、平成28年度の白鷹中学校3年生が制作した紙芝居「桜と守り人」が、児童生徒作品部門において特選の成績で表彰されました。

紙芝居はワークシヨップ形式で話し合い、「薬師桜

を世話するおじさんが不思議な体験をするお話となりました。小学生にもわかる文章で、小さい子でも桜に興味を持っていただけの作品になっています。

絵のすばらしさはもちろん、地域学習として大きな意味がある点などが評価され、このたびの表彰となりました。

紙芝居を制作した平成28年度の3年生と関係者の皆さん



日本の紅^{あか}をつくる町推進拠点施設 工事の無事を祈る上棟式

平成29年9月から進めている「日本の紅（あか）をつくる町推進拠点施設整備工事」。その上棟式が12月27日、山峡の里交流広場で行われました。

上棟式とは、柱・棟・梁などの基本構造が完成し、棟木を上げるときに行われるもので、地域によつては「建前」とも呼ばれます。この日は、十王地区役員、町及び設計・施工業者、そしてよつばこども園の園児など約100人が出席。棟

上げを祝い、今後の工事の安全を祈願しました。佐藤町長は「施設を有効に活用しながら、地域、そして町の発展につなげていきたい」とあいさつ。その後、昔ながらの習わしにのつとつた「餅まき」が行われ、園児たちは歓声を上げながら餅やお菓子を拾い集めました。

施設は延べ床面積約800平方メートルで木造平屋建て。建築工事は3月28日までの予定です。



1_ 日本紅（あか）をつくる町推進拠点施設の完成イメージ
2_ 空から降ってくる餅やお菓子を子どもたちは大はしゃぎ
3_ 施設のほとんどに町産木材を活用

第67回山形県統計グラフコンクール 蚕桑小学校が県統計協会会長賞を受賞

山形県統計協会と山形県の主催による、第67回山形県統計グラフコンクールにおいて、蚕桑小学校6年の青木遥奈さん、岡部優さん、菊地埜々花さん、小林海花さんの作品「CMっておもしろい」が山形県統計協会会長賞に選ばれました。

スポットをあて細かく調べている。4人でなければできない作品だった」と講評を受けました。

表彰式は11月30日、山形テルサを会場に開催された第44回山形県統計大会の席上で行われ、東北芸術工科大学教授の大竹左紀斗審査員長から「身近なテーマに

なお、このほかにも荒砥小学校6年の鈴木美冨さんの作品「なるほど！世界の小学校」が入選しました。また、同席上において、永年にわたり統計調査員としてご尽力された大滝隆雄さんが表彰されました。おめでとうございます。



①表彰式の様子 ②県統計協会会長賞作品「CMっておもしろい」 ③入選作品「なるほど！世界の小学校」

■第67回山形県統計グラフコンクール結果

【山形県統計協会会長賞】「CMっておもしろい」蚕桑小学校6年 青木遥奈さん、岡部 優さん、菊地埜々花さん、小林海花さん
【入選】「なるほど！世界の小学校」荒砥小学校6年 鈴木美冨さん

■第44回山形県統計大会表彰者

【山形県統計協会会長 感謝状(退職統計調査員)】大滝隆雄さん

子育て支援センター「にこぽーと」の来館者が5万人を達成し、12月12日に同所で記念イベントが開催されました。この日は、施設の利用者や施設の管理運営を担う町社会福祉協議会（竹田寛治会長）職員など約50人が参加。記念すべき5万人目の来館者となった佐藤真知子さん（高玉）と孫の遥妃ちゃんが、佐藤町長、竹田会長とくす玉を割り、来館5万人の達成を祝いました。佐藤さんは「（近所の子どもたちが減っている中で）同じ年頃の子どもたちと一緒に遊べるし、設備も充実している。親同士つながりもできるので、これからも利用したい」と笑顔で話しました。

「にこぽーと」は、これからも白鷹町で子育てをする皆さんをサポートしていきます。

祝
にこぽーと
来館5万人



にこぽーと来館者5万人記念 子育て支援講座

～子育てママ・パパもHAPPYになれる～
“親子コミュニケーション♪”

子どものコミュニケーション能力は、0～6歳の間に、大人とどんな関わり方をしたかでほぼ決まると言われています。

子育てママ・パパのよくある《疑問・不安・悩み》が解決できる体験ワークを実践して、子育てに前向きになれるヒントが見つかる講座です。

ナビゲーターは、伊藤こず恵（フリーアナウンサー・マザーズティーチャー）さん。無料託児（予約制・未就学児）も利用できます。

第1回 1月25日（木）午前10時～11時

テーマ「もうイライラしない！親子コミュニケーションのコツ」

内 容：子供の自己肯定感が下がる「NGワード」とは？ほか

第2回 3月4日（日）午前10時～11時

テーマ「自分らしい子育て・我が家らしい子育て」

内 容：ウチの子は「いい子？悪い子」チェック ほか

- 入 場 料 無料
- 会 場 白鷹町子育て支援センター「にこぽーと」
- 対 象 0～6歳のお子さんのお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん
- 申込方法 電話、メール、FAXのいずれかで『にこぽーと』までお申し込みください。また、連絡先（住所、氏名、年齢、電話番号、お子さんの年齢）と託児の有無もお知らせください。

☎0238-87-0083 [E-mail] nikoport@sgic.jp [FAX] 0238-87-0087

※定員（各回20名）を超えた場合は入場をお断りすることがあります。予めご了承ください。

※託児申込は各回とも開講の1週間前までお願いします。

【問い合わせ】健康福祉課子育て支援係 ☎86-0212

mother's coaching school

マザーズコーチングスクール

1/25

(木)

3/4

(日)



ナビゲーター
伊藤こず恵さん

YBCラジオ「ロケット団 三浦のらじCOOP」でもおなじみ、フリーアナウンサーであり、マザーズティーチャーであり、一児の母である伊藤こず恵さんが、毎日子育てにがんばっているお母さんの力になれるよう、「私らしい子育て」を作るお手伝いをします。

結婚希望者をバックアップ！

～婚活サポート委員会活動紹介～

町婚活サポート委員会（高橋良一会長）は、結婚に関する相談や婚活をする方々を支援する婚活サポーター組織です。委員会では、結婚に関する相談やお見合いなどのマッチング、出会いの場創出のための「婚活イベント」の開催などに取り組んでいます。

●結婚相談



毎月相談会を開催しています。

●長井市、南陽市、朝日町等の結婚支援組織との情報交換



イベントの共同企画やお見合いの情報を交換しています。



●出会いイベント7月9日開催「花結び TRAIN できょうは恋日和」



フラワー長井線の貸切列車や「あゆーむ」を会場に出会いイベントを開催しました。

●活動実績

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
婚活応援室相談件数	4	5	5
お見合いマッチング数	12	15	22
成婚カップル数	1	0	2

※平成29年度は11月現在

★次回のイベント

『春待ち night パーティー』

2/17
(土)

【時間】午後6時～9時30分

【会場】文化交流センター「あゆーむ」

※詳しくは町ホームページをご覧ください。

若者の出会いや結婚を応援してみませんか？ 婚活サポート委員募集

結婚を希望する方に対し、出会いのお世話や出会いの場の提供などを行うキューピット役の婚活サポート委員を募集します。

♥活動内容：結婚に関する相談や婚活支援、出会いイベントの実施や仲人活動等

♥任期：平成30年4月1日～平成32年3月31日

♥募集人員：15名程度

♥応募資格

①町内に住所を有するか、町内出身の方で、応募時点で満20歳以上の方

②結婚支援に熱意と関心があり、ボランティア（交通費等の実費支給）として活動できる方

③月1回程度の会議に出席できる方

④運転免許をお持ちの方

※詳しくはお問い合わせください。

♥応募締切：2月20日（火）

♥応募方法：応募用紙を健康福祉課へ提出ください。詳しくは町ホームページをご覧ください。

「白鷹町審査会等委員選考に係る基準」を準用し審査のうえ選考します。その後、審査結果を応募者全員に通知します。

【申し込み・問い合わせ】

健康福祉課子育て支援係 ☎86-0212

白鷹町第 5 期障がい福祉計画及び第 1 期障がい児福祉計画(案)

【問い合わせ】健康福祉課福祉係 ☎86-0111

●計画策定の趣旨

障がい者の権利を護り、障がいのある人もない人も共に暮らせる社会の確立を目指し、障がい福祉サービス、地域生活支援事業及び障がい児通所支援等の提供体制を確保し、円滑に実施するために策定するものです。

●基本理念

一人ひとりが
地域で自立した生活を送るための
切れ目のないサービス提供体制の確立

●計画期間

平成30年度から平成32年度までの3年間

●サービス必要量の見込み

[障がい福祉サービス]

訪問系サービス	居宅介護・重度訪問介護・同行援護・行動援護 など
日中活動系サービス	生活介護・自立訓練・就労移行支援・就労継続支援A型・就労継続支援B型・(新)就労定着支援・療養介護・短期入所(ショートステイ)
居住系サービス	(新)自立生活援助・共同生活援助(グループホーム)・施設入所支援
相談支援	計画相談支援・地域移行支援・地域定着支援
障がい児支援	児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援・障がい児相談支援 など

[地域生活支援事業]

相談支援事業・成年後見制度利用支援事業・コミュニケーション支援事業・日常生活用具給付等事業・移動支援事業・地域活動支援センター機能強化事業・知的障がい者職親委託事業・日中一時支援事業・自動車運転免許取得助成事業など

[見込量確保のための方策]

利用者の希望に沿ったサービスが提供できるよう、相談支援事業所や関係機関と連携のうえ、調整を行います。

●主な取り組み

- ▷ 施設入所者の地域生活への移行
- ▷ 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築
- ▷ 地域生活支援拠点等の整備
- ▷ 一般就労への移行等
 - ・福祉施設から一般就労への移行
 - ・就労移行支援事業の利用
 - ・就労定着支援による職場定着
- ▷ 障がい児支援の提供体制の整備

●その他

- ▷ 自立支援協議会の開催
- ▷ 障がい者虐待防止について
- ▷ 障がい者差別解消について

【募集期間】1月15日(月)～1月31日(水)

【意見の提出方法】

[Eメール] kenfuku2@so.town.shirataka.yamagata.jp

[FAX] 86-0115

[郵送] 〒992-0892

白鷹町大字荒砥甲488番地

白鷹町役場健康福祉課

※ 詳細については、健康福祉課、役場本庁舎、中央公民館、各地区コミュニティセンター、町のホームページで公開しています。

各種計画(案)のパブリックコメントについて

白鷹町第8次高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画(案)

【問い合わせ】健康福祉課介護保険係 ☎86-0213

●計画策定の趣旨

高齢になっても住み慣れた地域で元気に過ごすことができるよう、地域で支え合いながら健康づくりなどの社会参加や介護予防への取り組みを推進します。医療、介護、介護予防などの連携を図るとともに、誰もが安心して生活できるよう、計画を策定するものです。

●基本理念

みんなで支え合う地域社会の実現
～ぬくもりある地域包括ケアの推進～

●計画期間

平成30年度から平成32年度までの3年間
(3年ごとに見直しを行います。)

●基本的取り組み

[健康寿命の延伸]

- ▶生活習慣病の予防と重症化予防、感染症の予防、こころの健康づくり

[地域包括ケアの推進]

- ▶介護予防・健康増進を行う体制の拡充強化
- ▶在宅医療・介護連携の推進
- ▶要介護者の生活機能の維持・向上を図るための自立支援型地域ケア会議の充実
- ▶在宅生活の継続、向上を図るための家族介護支援の充実
- ▶生活支援・介護予防サービスの充実と高齢者の社会参加の支援
- ▶地域包括支援センターの機能強化

[認知症施策の推進]

- ▶認知症の正しい知識の啓もう及び認知症ケアパスの普及
- ▶早期診断・早期対応に向けた認知症初期集中支援推進事業の強化
- ▶成年後見制度利用支援等による権利擁護の推進・高齢者虐待防止

[介護・介護予防サービスの提供]

- ▶居宅・施設サービス・地域密着型サービスの充

実、適正化

- ▶介護サービス種類ごとの給付費の見込み及び介護保険料基準額の設定

[高齢者向けの住まい]

- ▶安全に生活できる住環境の整備支援、日常生活困難者の老人福祉施設への入所

[地域での見守りと災害対応]

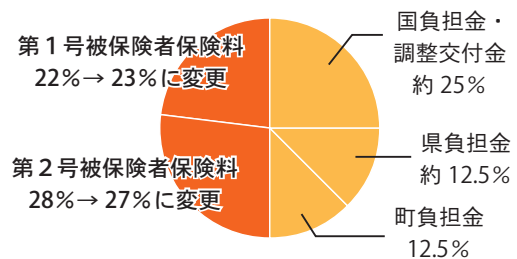
- ▶地域での見守り体制の整備
- ▶災害時要配慮者台帳等などの活用による見守りと避難誘導

●介護保険料基準額の設定(平成30～32年度)

3年間分の介護サービス総給付費見込額から第1号被保険者の介護保険料基準額を推計します。また、介護保険料の上昇を抑えるため、介護給付費準備基金を繰り入れます。

基準額は、国の介護報酬改定等が予定されているため、今後、条例改正などを経て決定されます。

総給付費の負担割合



※第1号被保険者とは65歳以上の方
※第2号被保険者とは40～64歳の方

【募集期間】1月15日(月)～1月31日(水)

【意見の提出方法】

【Eメール】kenfuku3@so.town.shirataka.yamagata.jp

【FAX】86-0115

【郵送】〒992-0892

白鷹町大字荒砥甲488番地

白鷹町役場健康福祉課

※詳細については、健康福祉課、役場本庁舎、中央公民館、各地区コミュニティセンター、町のホームページで公開しています。

「皆様のご意見をお寄せください。」

ご意見は「広報直通便」または町ホームページに掲載の「意見提出様式」に必要事項を記入のうえ、郵送、FAX、Eメール等でお寄せください。なお、ご意見を正確に把握するため、電話等による受付は行いません。

白鷹町水道事業経営戦略(案)

【問い合わせ】建設水道課水道係 ☎85-6137

●経営戦略策定の趣旨

水道事業は、料金収入をもって経営を行う独立採算制を基本原則としながら、住民生活に必要不可欠な水を提供する役割を果たしており、将来にわたり安定的に供給していくことが必要です。今後、サービスの提供に必要な施設等が老朽化していることや、人口減少に伴う料金収入の減少などの課題に対応するため、国が示したガイドラインに基づき現在の経営状況を分析し、将来に向けて持続可能な水道事業経営を目的として戦略を策定するものです。

●基本方針

〔①安定給水〕

町内水道施設の集中監視により異常時の迅速対応を図るとともに、水の相互融通の推進に向けた配水管網の充実等により安定給水に努めます。

〔②水質管理〕

毎年度作成する水質検査計画に基づき実施します。

〔③水道施設の更新・耐震化〕

更新工事が過大な設備投資とならないよう施設等の縮小、合理化を基本として再構築します。また防災・安全対策も考慮し、費用と機能を両立する更新内容とします。

〔④漏水対策〕

近年、漏水調査委託等により積極的に漏水対策を実施しており、今後も漏水防止に努めます。

〔⑤災害対策〕

災害時に対応するため、給水車、非常用自家発電機などを常備します。また迅速に対応できるよう

災害対策マニュアルの更新等を行います。

〔⑥経営の合理化・効率化の検討〕

近隣市町村との連携を密にし、事務の共同処理など広域化に向けた協議・検討を行います。現在のところ水道料金は改定しない見通しですが本戦略の見直しを行った結果、必要があれば料金改定を検討します。

●計画期間

平成30年度から平成39年度までの10年間(毎年度進捗管理をし、3～5年ごとに経営戦略の見直しを行います。)

●計画期間内の主な事業

- ▶新荒砥橋関連の本管工事を平成34年度まで予定しています。
- ▶針生簡易水道・細野小規模水道の上水道への統合を予定しています。

【意見の提出方法】

【Eメール】 suidou@so.town.shirataka.yamagata.jp

【FAX】 85-2509

【郵送】 〒992-0892

白鷹町大字荒砥甲833番地

白鷹町役場建設水道課

※ 詳細については、建設水道課、各地区コミュニティセンター、町のホームページで公開しています。

Public comment



平成 29 年度 明るい選挙啓発標語入賞者

■最優秀賞

「行かなくちゃ 社会を変える その一票」五十嵐悠哉（荒砥高校1年）

■優秀賞

「ふるさとに ねがいをこめて この1ぴょう」	羽田 英汰（鮎貝小1年）
「この1票に 私の未来を たくします」	大木 眞菜（東根小6年）
「投票で 自分の思い 届けよう」	大滝 唯加（白鷹中1年）
「伝えよう あなたの思いを 一票で」	菅間 志穂（白鷹中2年）
「一票が 僕らの道を 照らす日に」	影山 玲菜（白鷹中3年）
「その思い 伝えてみよう 一票で」	青木 汐音（荒砥高2年）

■入選

【小学校低学年の部】

羽田 海二（鮎貝小2年）
安部 瑞樹（鮎貝小2年）
安達 結香（鮎貝小3年）
後藤 真優（鮎貝小3年）

【小学校高学年の部】

船山 芽生（鮎貝小4年）
佐藤 三咲（鮎貝小5年）
鈴木 健祐（荒砥小5年）
鈴木 遥人（鮎貝小6年）

【中学1年の部】

奥山 結衣（白鷹中1年）
浅野 秦（白鷹中1年）
竹田 滂（白鷹中1年）
土屋 泉碧（白鷹中1年）

【中学2年の部】

渋谷茉菜佳（白鷹中2年）
森谷 大樹（白鷹中2年）
安部 知優（白鷹中2年）
梅津 汐音（白鷹中2年）

【中学3年の部】

小林 勝汰（白鷹中3年）
船山 涼香（白鷹中3年）
横澤 健人（白鷹中3年）
中山 絹士（白鷹中3年）

【高校の部】

今野璃夏子（荒砥高1年）
馬場 脩平（荒砥高1年）
小口 麗奈（荒砥高3年）
羽角 奏音（荒砥高3年）

第 51 回 白鷹町剣道大会（12月3日 / 白鷹町武道館）

■小学低学年男子の部（リーグ戦）

第1位 丸山 剛 / 第2位 斎藤 瑛太 / 第3位 黒田 陽斗

■小学女子オープンの部（リーグ戦）

第1位 黒澤 侑華 / 第2位 海老名咲季 / 第3位 清野 未希

■小学6年男子の部（リーグ戦）

第1位 梅津 星那 / 第2位 黒澤 尚滉 / 第3位 海老名葉介

■中学男子の部（リーグ戦）

第1位 菅間 健太 / 第2位 金子 碧杜 / 第3位 黒澤 武寛

■中学女子の部（トーナメント）

第1位 渡部二千花 / 第2位 海老名芽依 / 第3位 船山 涼香・丸山 茶子

■高校・一般の部

第1位 阿部 貴文 / 第2位 岩澤 惇平 / 第3位 奥山 篤・芳賀 透



スポーツ振興くじ助成金は、東陽グラウンドや野球場・ソフトボール場の改修など、白鷹町の多くの施設に使われています。スポーツくじの購入にご協力ください。

■白鷹ソフト小村入居者募集

- ▼入居対象者 情報産業を営む個人・法人の方、研究開発や起業、新事業の創出、新分野など
- ▼内容 ビジネスオフィス(1戸建) 1棟(2階建約70坪)
- ▼使用料 5万8620円/月
- ▼募集期間 1月15日(月)～1月末

※申込方法など、詳細は町のホームページをご覧ください。
お問い合わせください。

【申し込み・問い合わせ】
商工観光課商工振興係
☎87-0696

■町営住宅入居者を募集します

《神明アパート》

- ▼所在地 白鷹町大字鮎貝2468-10
- ▼募集戸数 1戸(一般用)
- ▼間取り 3DK(6+6+4・5畳+台所+浴室)
- ▼家賃 所得額等により月額1万6800円～3万3100円

《柏原住宅》

- ▼所在地 白鷹町大字箕和田1261-43
- ▼募集戸数 1戸(一般用)
- ▼間取り 3DK(8+8+6畳+台所+浴室)
- ▼家賃 所得額等により月額1万8100円～3万5600円

《共通》

- ▼敷金 家賃の3カ月分
- ▼入居資格 住宅困窮者で、入居世帯の収入が公営住宅法の基

準以下で、原則として同居する親族がいる方及び暴力団関係者ではない方

▼入居可能日 2月下旬

▼募集期間 1月15日(月)～1月25日(木)午後5時まで

※土日を除く。

▼申込方法 平成28年分、29年分の源泉徴収票の写しなど入居者全員の所得がわかる書類、個人番号が確認できる書類及び本人確認書類等が必要となります。(申込者の要件により提出書類が異なる場合があります。)詳しくはお問い合わせください。

【問い合わせ】

建設水道課管理係
☎85-6140

平成30年度白鷹町日々雇用職員(臨時・パート)の登録を受付けます

●職種と賃金

職種	資格要件	賃金(時給)
一般事務		788円
学校用務員	普通自動車免許取得者	788円
下水道普及相談員	普通自動車免許取得者	788円
運転手(一般系)	有資格者(大型・大型特殊運転免許取得者)	1,123円
運転手(土木系)	有資格者(大型・大型特殊運転免許取得者)	(夏期) 1,123円
		(冬期) 1,226円
ポイラーマン	有資格者(2級以上)	929円

●通勤手当相当割増賃金

- 2km以上5km未満 100円
- 5km以上10km未満 200円
- 10km以上 300円

●勤務形態 職種・職場により勤務時間、勤務日数が異なります。

●提出書類 白鷹町臨時職員登録申請書

※役場総務課にお越しいただくか、町ホームページからダウンロードしてください。

●締め切り 2月16日(金)

※書類を提出された方は「白鷹町日々雇用職員登録名簿」に登録され、必要に応じて名簿登録者の中から面接及び書類審査による選考のうえ雇用いたします。(雇用及び選考については、原則平成30年4月1日現在で満60歳未満の方を優先的に雇用する予定です。)

※年度初めからの雇用については、2月16日までに登録いただいた方の中から選考させていただきますが、その後も登録を随時行いますのでお問い合わせください。

※なお、名簿登録者全員が雇用されるものではありませんのでご了承ください。

【受付・問い合わせ】

総務課総務係 ☎85-6120

■平成29年度炭焼き体験会を開催します

▼いつ 2月3日(土)

午前9時30分～午後1時
(午前9時～受付)

▼どこで 白鷹町ふるさと森林公園 炭焼き窯

▼内容 白炭窯を使った炭作り体験・ドラム缶窯を使った炭作り体験 等

▼持ち物 昼食(おにぎり等)、飲み物

▼服装 寒くない服装(長靴、帽子など)、軍手、マスク

▼参加費 一人500円(保険料、昼食時の温かい汁物)

▼申込締切 1月29日(月)

【申し込み・問い合わせ】

農林課森林整備係
☎85-6125

■第46回白鷹町民・小中学校スキー大会参加者募集

▼いつ 2月18日(日)

午前8時50分開会
▼どこで 白鷹町営スキー場

▼種目

①小学男女…大回転・距離(大回転は小学1～6各学年、距離は小学3年以下、4年～6年各学年)

②中学男女…大回転・回転・距離
③シニア男子(40歳以上)…大回転・回転

④一般女子…大回転・回転(高校生以上年齢オープン)

⑤一般男子…大回転・回転(高校生以上年齢オープン)

▼申込締切 2月2日(金)午後5時まで。小中学生は学校ごと

とにまとめて申し込みください。

▼注意事項

①当日は駐車場が大変混み合いますので、乗り合わせにご協力ください。

②当日のスキー場は、大会終了(午後1時ころ)まで一般利用できません。

③進行状況によって、一般利用開始時間が前後する場合がありますので、ご了承ください。
※大会ボランティアスタッフを募集しています。ご協力いただける方はご連絡ください。

【申し込み・問い合わせ】

教育委員会生涯スポーツ係
☎85-6147



「春を待つ“SHIRATAKA RED”ディナー
馬渡シェフと味わう 白鷹の宝物」

東京港区のイタリアンレストラン「リストランテラチャウ」の馬渡シェフをお招きしての、白鷹の冬の食材をふんだんに取り入れた「SHIRATAKA RED ディナー」。

雪に閉ざされた2月。ほんのひと時、馬渡シェフがプロデュースするおいしい料理とおいしいワインで、春を待つ華やかなパーティーをお楽しみください。

- 日 時 2月9日(金)午後6時30分～
- 会 場 パレス松風 コンベンションホール
- チケット 5,000円(ワイン代含み)

※コース以外の追加の飲み物については、追加でドリンクチケットをご購入ください。

- 定 員 100名
- チケット販売 鷹野湯温泉パレス松風(☎85-1001)
白鷹町役場商工観光課(☎85-6126)
- 主 催 白鷹町「日本の紅(あか)をつくる町」連携推進本部

【問い合わせ】白鷹町役場商工観光課 ☎85-6126



Tsuyoshi Mawatari



平成 30 年 4 月
受付スタート分

を 開催 します。

ふるさと納税説明会

制度創設以来、多くの皆様からご寄附を頂戴しているふるさと納税は平成 30 年度、11 年目を迎えます。平成 30 年 4 月 1 日から、寄附金額や返礼品の変更を行うため、事業所の皆様向けの説明会を開催します。制度のスムーズな運営を図るため、説明会への参加にご協力ください。



【説明会】

- ▼日時 1月29日(月) 午後1時30分
 - ▼会場 町産業センター
 - ▼対象 ふるさと納税返礼品の取扱
業者が可能で、町内に事務所のある事業者
 - ▼内容 ふるさと応援制度返礼品について
- ※出席される方は1月25日(木)までお申し込みください。なお、都合により参加できない場合は、個別にご相談ください。

—— 思いがカタチに ——

白鷹町への“ふるさと納税” ありがとうございます

ふるさと納税制度は、出身地や応援したい自治体に寄附をすると、所得税および住民税から一定の控除が受けられるようになる制度です。

白鷹町では平成 20 年度からこの制度を導入し、いただいた寄附金は人材育成や文化伝承等のまちづくりに役立てられています。

お申込みはインターネット、電話、FAX で受付けています。

町外にお住まいで、1 万円以上ご寄附していただいた方には、お礼の品をお贈りします。

詳しくは下記までお問い合わせください。



●寄附の状況

	寄附金額
平成 25 年度	19,637 千円
平成 26 年度	30,519 千円
平成 27 年度	37,872 千円
平成 28 年度	113,682 千円
平成 29 年度 (12 月 31 日現在)	96,027 千円

●申込の多い返礼品 (H29.12.31 現在)

	件数
HANABISHI オーダーメイド仕立券	686 件
米沢牛(すき焼き用)	291 件
高級ぶどう 3 色詰合せ	257 件
チーズ詰合せ	205 件
干し柿	129 件

【各種問い合わせ・申し込み】

白鷹町ふるさと応援制度事務局(白鷹町商工会内) ☎ 85-0055 / 商工観光課交流推進係内 ☎ 85-6126

募集の
お知らせ

山形県若者定着奨学金返還支援事業 「助成対象者」を募集します

● 募集対象者【次の各号に全て該当する方】

- ①山形県内に居住し県内の高等学校、特別支援学校高等部、専修学校高等課程を今年度卒業見込みの方、または卒業した方
- ②県内外の大学、大学院修士課程、高等専門学校（第4学年以上）、県内の短期大学または専修学校専門課程（以下「大学等」という。）に来年度進学予定または在学する方
※高等専門学校の在学者の場合は、①の要件は山形県内の中学校または特別支援学校中等部を卒業した方を含む。
- ③日本学生支援機構の第一種奨学金（無利子）の貸付を希望する方または貸与を受けている方
- ④大学等を卒業後6カ月以内に山形県内に居住かつ就業し、その後3年間継続する見込みの方
- ⑤次の対象産業分野への就業を希望する方。ただし、公務員は対象外です。
(1)商工分野 (2)農林水産分野 (3)建設分野
(4)医療・福祉分野（医師、看護師、介護福祉士、保育士を除く）

● 募集人数：県内全体で100名

書類審査により認定し、文書で通知します。なお、募集人数を上回る応募があった場合、書類審査等により選考します。

※募集人数を上回る応募があった場合には、助成対象者に認定されない場合があります。

● 助成金額

助成候補者の認定を受けた年度以降に奨学金の貸与を受けた月数に2万6千円を乗じた額を上限に支援します。

（例）4年制大学を卒業した場合
 $26,000円 \times 48カ月 = 1,248,000円$
を上限に支援します。

※白鷹町以外に移住した場合は、助成金額が1/2に減額となります。

● 応募について

申込先へ下記の必要書類を2部（原本及びその写し）、募集期間内に持参または郵送してください。

▷ 必要書類

- ①白鷹町若者定着奨学金返還支援事業助成候補者認定申請書
- ②成績証明書（在学中の大学等の成績証明書）
- ③平成29年の家計支持者（父母、父母がいない場合は代わって家計を支えている人）の所得に関する証明書の写し
- ④奨学金貸与証明書または奨学生証の写し

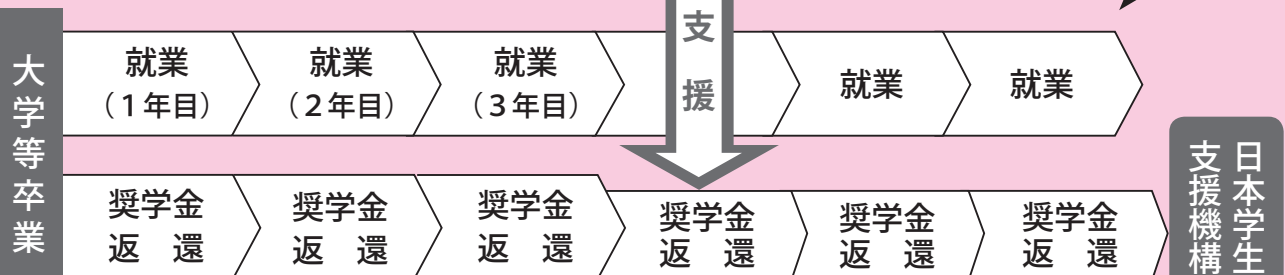
▷ 募集期間 2月20日(火)まで（※ 必着）

【申込先・問い合わせ】

商工観光課商工振興係 ☎87-0696〔直通〕

山形県若者定着奨学金返還支援事業

事業のしくみ



※就業後3年間奨学金返還することが助成の要件となります。

▼申告が必要な方

●給与収入があり次に該当する方

- ①年末調整を行っていない方
- ②前年中に途中で退職した方
- ③給与以外に所得のある方
- ④2カ所以上から給与のある方

●農業・営業・不動産など事業所得のある方

●配当や保険満期、資産の譲渡などの所得がある方

●年金受給者で社会保険・生命保険料控除を受けようとする方

●収入がなく次に該当する方

- ①国民健康保険に加入している方
- ②所得証明が必要な方
- ③年金などの免除を申請される方

※詳しくは、2/1に全戸配布いたします「申告書の取り扱い」及び「フローチャート」を参照ください。

▼申告に必要なもの

申告される方全員
<input type="checkbox"/> 印鑑
<input type="checkbox"/> 町民税・県民税個人申告書
<input type="checkbox"/> 所得税確定申告書（税務署から送付されている方）
<input type="checkbox"/> 本人確認書類（申告書にマイナンバーを記入した場合）の写し 例）マイナンバーカード(写)、マイナンバー通知カード(写) +運転免許証(写) など
所得（収入）に関するもの
<input type="checkbox"/> 源泉徴収票（給与・年金）
<input type="checkbox"/> 収支内訳書及び収入と経費を証明するもの（農業・営業・不動産その他事業所得がある方） 例）出荷証明書や購買明細書等の経費が確認できるもの売上伝票や帳簿等及び経費が確認できるもの
<input type="checkbox"/> 一時所得や保険満期一時金などの証明書
<input type="checkbox"/> 支払明細書、金融機関発行の源泉徴収票（配当のある方）
<input type="checkbox"/> 個人年金、講師料、謝金など各種報酬の支払明細
<input type="checkbox"/> 売買契約書、譲渡費用等がわかる領収書（土地等売却された方）
控除に関するもの
<input type="checkbox"/> 生命（一般・介護医療）保険料支払証明書
<input type="checkbox"/> 個人年金保険料支払証明書
<input type="checkbox"/> 地震保険料支払証明書（平成18年12月31日までに締結した長期損害保険料支払証明書）
<input type="checkbox"/> 国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料の領収書
<input type="checkbox"/> 国民年金保険料控除証明書、農業者年金掛金の領収書
<input type="checkbox"/> 医療費の明細書と領収書、おむつ使用証明書、保険などの補てん額
<input type="checkbox"/> 身体障がい者手帳、療育手帳など
<input type="checkbox"/> 障がい者控除対象者認定書（要介護認定者）
<input type="checkbox"/> 寄付を行った団体の発行する領収書
振替納付や還付に関するもの
<input type="checkbox"/> 通帳、通帳の本人届出印…振替納付
<input type="checkbox"/> 申告者名義の金融機関名・支店・口座番号がわかるもの…還付

農業所得がある方へ（販売がある農家）

収支計算による申告となります。

▶ **持ち物**／収支内訳書（農業所得用）及び収入と経費が確認できるもの

①農協と取引されている方は農協が発行する各種明細書

②営農組合（集落営農）の方は分配金の計算書

※明細書・計算書等がないと申告相談に支障がでますので必ず持参ください。

【お願い】

①農作業の委託費、小作料の支払いがある方は事前に支払明細書を提出ください。

②機械等を共同で購入された方は事前に販売証明書などを提出ください。

営業・不動産など事業所得のある方へ

▶ **持ち物**／収支内訳書（一般・不動産用）及び収入と経費が確認できるもの

※町の収支計算書を活用ください。

報酬・配当所得のある方へ

▶ **持ち物**／支払明細書など

給与・年金所得がある方へ

▶ **持ち物**／源泉徴収票

※中途退職者は退職時までの源泉徴収票も必要です。

障がい者控除を受けられる方へ

▶ **持ち物**／障がい者手帳など

※要介護認定を受けている方で、「身体障がい者に準ずる」と認定された場合は、障がい者控除を受けることができます。（認定書は健康福祉課介護保険係で発行します）

医療費控除を受けられる方へ

▶ **持ち物**／記入済みの医療費明細書と領収書

※出産一時金、高額医療費がある場合や保険などの補填金がある場合はその金額が除かれます。

※金額は事前に合計しておいてください。

住宅借入金等特別控除の適用を受けられる方へ

▶ **持ち物**

新規の方／借入金の年末残高等証明書、登記簿謄本、契約書写しなど。

※共有名義や敷地の購入等で添付書類も異なりますので事前に税務署にお問い合わせください。（長井税務署 ☎84-1810）

2回目以降の方／税務署から届いている住宅借入金等特別控除申告書、借入金の年末残高証明書

¥3⁰¹

町県民税の申告相談

期間は2月14日～3月15日です

今年も町・県民税の申告時期になりました。この申告は、平成30年度の町・県民税を算出する基礎となるほか、国民健康保険税・後期高齢者医療保険料や介護保険料及び所得証明書などの税関係証明書発行の資料となる重要な手続きですので、提出の必要な方は忘れずに申告書をお出してください。(※マイナンバー制度の導入により、平成28年分以降の申告書

にはマイナンバーを記入していただく必要があります。マイナンバーを記入した申告書を提出する際には「番号確認」「本人確認」をさせていただきます。)

なお、申告相談の際の注意点などをまとめましたので、申告の必要な方は、必要な書類の事前準備をお願いします。

【問い合わせ】税務出納課町民税係 ☎85-6132

申告相談日程				会場
月日	曜日	相談受付地域		(対象地区)
		午前	午後	
2/14	水	中田、原、上原	堀之内、北原、針生	鷹山地区コミュニティセンター (鷹山地区)
15	木	山道、西	新屋敷1・2	
16	金	下折居、上折居、西原、細野	東小手沢、南	
19	月	南部1・2	南部3・4・5	東根地区コミュニティセンター (東根地区)
20	火	中部1・2	中部4・5・6	
21	水	北部1・2	北部3・4	
22	木	中部3、東部1・2	東部3・4	
23	金	蚕桑1・2	蚕桑3・8・10	蚕桑地区コミュニティセンター (蚕桑地区)
26	月	蚕桑6・7	蚕桑4・5・15	
27	火	蚕桑12・13	蚕桑11・14・16	
28	水	蚕桑9・17・18	蚕桑19・20	
3/2	金	鮎貝3・4・14	鮎貝10・12	鮎貝地区コミュニティセンター ハーモニープラザ (鮎貝地区)
5	月	鮎貝1・2	鮎貝11、高岡2、深山2	
6	火	鮎貝7・8・9	鮎貝5、高岡1、深山1	
7	水	鮎貝13	鮎貝6、黒鴨	
8	木	十王1・2	十王3・4・5・6	産業センター (荒砥・十王地区)
9	金	十王8・9・10	十王7、菖蒲1・2	
12	月	下山、佐野原	貝生2、八幡1・2	
13	火	貝生1、大瀬	貝生3、新町	
14	水	出来町1・2	横町1、仲町3	
15	木	仲町1・2	横町2、上町、仲町4	

※3/1(木)は申告相談を休みます。

【開館時間】午前8時30分

【受付時間】午前の部：午前8時45分～11時 (相談は午前9時開始)
午後の部：午前11時45分～午後3時 (相談は午後1時開始)



- 申告相談は受付簿に記入された順に行います。
- 相談日は地区・地域指定を行いますので、次のことに注意してください。
 - ① 指定された日の時間帯においでください。
 - ② 指定日に都合のつかない方は、同じ地区の会場のいずれかの日においでください。
 - ③ 同じ地区の会場のいずれの日にも都合がつかない方は、事前に税務出納課町民税係へご連絡(新たな日を予約)ください。

※連絡なしに指定会場以外に来られた方は、資料がないため受付できませんのでご注意ください。

- 資料等の都合上、役場庁舎内での相談はお受けできません。ご理解とご協力をお願いいたします。
- 自書申告書は役場税務出納課または申告会場でお預かりいたします。
- 前年(平成29年1月1日～12月31日)の所得を申告してください。
- 申告相談終了間際は混み合いますので、早めの申告にご協力ください。

地域おこし協力隊通信

第23回

「白鷹町の歴史・文化ごと
引き継げるように」

地域おこし協力隊 石井 紀子

蚕桑地区で
活動中!

あけましておめでとうござい
ます。

早いもので協力隊として過ご
す最後の正月になり、今年10月
に協力隊の任期が終了します。
最終年にふさわしい仕事ができ
るよう、気合いを入れていきま
いと思います。

最近、古民家をリ
フォームして飲食店や
宿にするという話を耳
にします。建築の保存
なり、古民家を訪れる
機会が生まれるのでう
れしいお話です。

一方で、古民家を使
うには、まず家の片づ
けをしなくてはなりま



鵜渡川原(うどがわら)人形(酒田市)
の絵付け体験で作った犬の置物

せん。不用品の中には江戸時代
や明治時代などの文書や先祖の
名前が入った骨とう品が出てき
たり、まれに仏像が発見される
かもしれない。とあるお宅で
は、古いお札が見つかり調査を
行うことになりました。

こうした史料は、「大切なも
のだからうけど、どうしたら良い
かわからない」と悩みの種にな
りやすいと思います。しかし、
白鷹町の歴史を知る大切な史料
なので、捨てずに歴史好きな人
に声をかけてみたり、石井にご
一報いただければ幸いです。

今後、人口減少に伴う古民家
の整理や解体は多くなっていく
ことでしょう。白鷹町の存続を
気にするならば、この土地が持
つ歴史・文化ごと引き継げるよ
うに気を配りたいと思います。

町報川柳 — 最 —

民謡に聞き惚れ下る最上川
祖父が言うむかし泳いだ最上川
最高美味と天気と芋煮会
最近は特に動きが鈍くなり
脳錆びて最近目立つ物忘れ
最愛の妻と言えませす嘘じゃない
名の由来考えながら喰う最中
孫の皆婆の最たる癒しです
最低のくらしで今も生きてます
最上川子供頃に鱒捕り
最高の力を出してがんばるぞ
最上川他県を跨ずひた流る
すすき枯れ最上川にも白い鳥
最後まで頑張る部活上達早し
清き流れの最上川汚水流れて濁りたり
人生の最後はゼロで終わりたい
ご褒美に小豆最中で一報(いっぶく)し
最上階下界見下ろす富裕層
西あずまから日本海流れる最上川
最近の子らはスマホとにらめっこ
遠耳の最もらしく頭下げ
最上川郷(ふるさと)の四季映し行く
最愛の夫に感謝日々想う
京へ江戸へと紅花運んだ最上川
老々介護最も重みのある言葉
唄も絵も四季を彩る最上川
幸せを最終列車が待ち受ける
最上川皆んなの川よきれいにし
悠悠と休まず疾き最上川
かわいそうこの世の最後特攻隊
良い仲間至福最高「はっぴー」だ
最終えいってわかった掛け違い

坂戸市 安達 功
長井市 安部ありな
高岡 安部 健一
山口 石川與次衛門
荒砥乙 五十公野春己
鮎貝 植木 英夫
浅立 梅津 太一
浅立 梅津美千子
滝野 海老名きち
世田谷 遠藤 八重
横須賀 大滝健次郎
荒砥乙 木口 とよ
菖蒲 小関 弘
山口 児玉 保子
萩野 紺野 五月
鮎貝 佐藤 幸子
鮎貝 神保 玲子
荒砥甲 鈴木美貴子
十王 平 恒人
高玉 高橋 朝子
荒砥乙 土谷 灯一
箕和田 土屋 平敏
箕和田 土屋 敏子
広野 新野智耶子
高玉 橋本つね子
荒砥乙 保科 努
十王 松野いせ子
ふじみ野 村上 桂造
十王 守谷 勝助
十王 守谷 三郎
鮎貝 横沢 直太
山口 渡部喜美子

次回「達」一月二十五日まで。 「終」二月二十五日まで。
白鷹町大字荒砥甲八三三番地 白鷹町役場企画政策課情報係 宛

「トランポリン」

保育士がホールで遊んでいると、年長児のA子が
 A 子「先生！お腹がドキドキするの！」
 保育士「えっ。お腹がドキドキ？」
 A 子「私じゃなくてKちゃん(年少児)のお腹だよ。」
 K 子はお腹を押さえてうずくまっています。
 保育士「Kちゃんどうしたの？」
 K 子「・・・。」
 A 子「Kちゃんドキドキしてるんだよね？」
 K 子「うんドキドキするの。」
 A 子「Kちゃんね、トランポリンしたら、おなか
 がドキドキしたんだって。」
 保育士「ここ(心臓)じゃなくて、お腹？」
 K 子「うん、そうお腹。病気？」



つばやき
 さくらの保育園
 つばやき

保育士「なるほど。トランポリンしたのね。それだ
 ったら病気じゃないよ、大丈夫！」
 K 子「本当？」
 保育士「トランポリンのジャンプが大きかったから
 お腹がびっくりしてドキドキしたんだよ。」
 K 子「びっくりしたのか〜。」
 5分後、K子ちゃんはまたトランポリンに上がって
 いました。

支出日	区分	支出額(円)	内 容
12月 1日	香典	5,000	町議ご親族弔慰金
12月 6日	贈答品	34,500	重要事業要望
	御祝	3,300	ヤナ仕舞い及び鮎供養祭
12月 11日	香典	5,000	農業委員会会長ご親族弔慰金
	香典	5,000	元区長会長弔慰金
12月 13日	御祝	3,000	白鷹ライオンズクラブ クリスマス例会
	御祝	5,000	蚕桑地区新春のつどい
	御祝	5,000	鮎貝地区新春懇談会

支出日	区分	支出額(円)	内 容
12月 13日	御祝	5,000	荒砥地区新春交流会
	御祝	5,000	十王地区新春懇談会
	御祝	5,000	鷹山地区新春地域振興懇談会
	御祝	5,000	東根地区新春交流会
12月 21日	御祝	10,000	技能五輪全国大会金賞受賞祝賀会
	献花	15,000	町議ご親族弔慰生花
12月 27日	香典	5,000	元農業委員弔慰金
	計	115,800	

町長の主な動静

12月

月 日	行 事 名
12月 1日	白鷹町 PTA 連絡協議会 町長と語る会
12月 2日	荒砥地区在住の町議と荒砥地区正副区長と町内長との合同研修会
12月 4日	置賜地域行政懇談会
12月 5日	第 10 回白鷹町議会定例会・本会議
	予算特別委員会 まちづくり複合施設等整備特別委員会
12月 7日	総務厚生常任委員会
	観音寺観音堂屋根葺替工事落慶法要 観音寺観音堂屋根葺替工事完成祝賀会
12月 8日	産建文教常任委員会
12月 11日	白鷹町産業振興戦略会議
12月 12日	にこぼーと来館者 5 万人イベント

12月

町長交際費

月 日	行 事 名
12月 12日	議会運営委員会
	第 10 回白鷹町議会定例会・本会議
12月 13日	白鷹町農業再生協議会臨時総会
	日赤表彰式・防災セミナー
12月 14日	重要事業要望 ～ 15 日まで (東京都)
12月 19日	山形宮城国道 113 号期成同盟会要望会(山形県側)
12月 20日	白鷹町スクールバス安全祈願祭
12月 25日	置賜地域地場産業振興センター理事会
12月 26日	置賜広域行政事務組合議会全員協議会
12月 27日	日本の紅(あか)をつくる町推進拠点施設整備 工事上棟式
	山形鉄道株式会社取締役会
12月 28日	仕事納めの式

■町長の動静・交際費に関する問い合わせ 総務課総務係 ☎85-6120

第2次白鷹町健康増進計画 **元気ニコニコしらたか21****GENKINIKONIKOSHIRATAKA 21**

【問い合わせ】健康福祉課健康推進係 ☎86-0210

**精密検査そのままにいませんか？**

同日健診・がん検診の結果で「要精密検査」と判定された方は、早めに必ず精密検査を受けましょう。

【近年のがん検診精密検査受診率状況】

	H27年度(%)
胃がん検診	74.4
大腸がん検診	90.2
肺がん検診(呼吸器検診)	78.0
子宮がん検診	40.0
乳がん検診	83.8

(山形県がん検診成績表より)

町では、全ての方が確実に精密検査を受けることを目標にしています。

ほとんどのがんは、はじめは自覚症状がありません。しかし、せっかく受けたがん検診の結果をそのままにしておくことで、がんの発見が遅れてしまう場合があります。自分のため、家族のために精密検査を受けましょう。

子宮がん検診、乳がん検診の無料クーポン券が利用できます

今年度、【平成8年4月2日～平成9年4月1日生まれ】の方に子宮がん検診無料クーポン券、【昭和51年4月2日～昭和52年4月1日生まれ】の方に乳がん検診無料クーポン券をお送りしています。これから受診を希望される方は、下記の方法でご受診ください。

※白鷹町立病院では、平成30年3月まで無料クーポン券が使えます。

- ①人間ドックを予約している方は、ドック当日に無料クーポン券をお持ちください。
- ②レディース検診を希望される方は、白鷹町立病院(☎85-2155)にお申し込みください。

■平成30年度 各種健診・人間ドックについてのお知らせ**①町の各種健診について**

昨年度から、町の健診については申し込みをとらずに、対象年齢の方に健診の案内をお送りしています。各種健診の日程については、3月配付の「平成30年度元気ニコニコ推進カレンダー」でお知らせいたします。

②白鷹町立病院の人間ドックについて

人間ドックは申し込み制となります。平成30年2月13日発行の「広報しらたか」と一緒に「平成30年度各種健診、人間ドックのお知らせ」について全戸配布いたしますので、ご希望の方は専用ハガキを健康福祉課健康推進係に提出してください。

■「山形県がん総合相談支援センター」が開設しました

平成29年10月1日に(公益財団法人)やまがた健康推進機構の県内5カ所の検診センターに開設しました。今後、「がん」に関するさまざまな問題や悩みについて、一緒に解決の糸口を探していきます。

例えば、「がん検診に関する情報」「病気や治療に関する情報」「仕事と治療の両立」など。がん患者さんやそのご家族、どなたでも気軽に相談できます。

相談業務:①電話相談と②窓口相談を受付けています。

①電話相談(☎0800-800-8230 [通話料無料])

相談日時:週5日(月～金)10～15時

②窓口相談(山形検診センター内)

相談日時:週3日(火・水・木)10～15時

詳しくは、やまがた健康推進機構ホームページでご確認ください。ひとりで悩まず、ぜひご相談ください。

R e f u s e e d u c e r e u s e e c y c l e

しらたか4R情報

～ごみ減量 できることから はじめよう～

【問い合わせ】町民課くらし環境係 ☎ 85-6131

雑がみを分別して、 可燃ごみを減らそう！

ひと手間・ひと工夫で
できるごみの分別・減量
にご協力ください！

雑がみとは、「新聞」「雑誌」「ダンボール」「紙パック」以外のリサイクルできる紙です。しかし、リサイクルできる雑がみの多くは「可燃ごみ」として処分されています。その雑がみを古紙へ分別することで、可燃ごみの量を減らすことができます。

▼これらは雑がみです

包装紙、プリント、チラシ類、菓子箱、ティッシュ箱、ラップなどの芯、メモ用紙、封筒、はがき、カレンダー、取扱説明書など（※紙以外のものは取り除いてください。）

▼これらは雑がみではありません（可燃ごみ）

防水加工紙（紙コップなど）、アルミ加工紙、ビニール加工紙、汚れた紙、ティッシュペーパー、写真、写真プリント用紙、感熱紙（レシートなど）、カーボン紙（宅配便の伝票など）、圧着はがき（「ここからあけてください」と書いてあるはがき）

雑がみの出し方



ゴミ箱の隣に古封筒や紙袋を置き、雑がみを入れる。



雑がみがたまったら紙袋ごと紙ヒモで十字にしぼる。



あとは古紙回収の日に出すだけ！

元気ニコニコ健康まつり ボランティア

11月11日、町健康福祉センターで開催された「元気ニコニコ健康まつり」のボランティアに本校生15名が参加しました。当日は、受付や案内をはじめ、放送や各種イベントの補助に参加させていただきました。また、紙芝居を用いた「喫煙防止」発表も行いました。



荒高掲示板

各ボランティア活動

フラワー長井線車両清掃ボランティア

12月16日、キャンパス制交流事業の一環として、長井工業高校の生徒会の皆さん7名と、本校生徒会の8名がフラワー長井線の車両清掃を行いました。



男性限定

目指せ！ナイスシニア 体操体験教室のご案内

白鷹町の3人に1人は65歳以上の高齢者です。
高齢者と言ってもまだまだ人生これから！熟年の充実した時期でもあります。

あなたはこれからの人生をどう暮らしていきたいですか？

これからも自分のことは自分でしたい！

と思っているあなた。だったら今から介護予防です。

■日時 1月23日(火) 午後1時30分～3時

■場所 健康福祉センター すこやかホール



■講師 健康運動指導士 梅津順子 氏

■服装 動きやすい服装、内ズック

※飲み物は準備します。

■申し込みは1月16日(火)まで、お電話でお願いします。

【申し込み・問い合わせ】

健康福祉課地域包括支援センター係 ☎86-0112

1月開催「のどかカフェ」のご案内

誰もが気軽に参加できる場として、「のどかカフェ」を開催しています。お茶を飲みながら参加者同士で認知症や介護、介護予防、健康づくり等について情報交換をしています。毎月第4水曜日に開催しています。

●会場 ちょぼらの家(荒砥甲373-8)

●参加料 無料

●開催日 1月24日(水)午後2時～3時30分

※申込不要。直接会場にお越しください。

【問い合わせ】

健康福祉課地域包括支援センター係 ☎86-0112

支えあう地域づくりなないろの会(福祉型小さな拠点)のご案内

誰もが健康づくりや交流を楽しめる居場所をつくりました。皆さん、お気軽においでください。

「いきいき百歳体操と茶話会」

●日程 1月19日(金)・26日(金)・2月2日(金)・9日(金)・16日(金)・23日(金)
午前10時～11時45分

●対象者 どなたでも(申込不要)

●利用料 1回100円

●持ち物 バスタオル(百歳体操時、椅子の下に敷きます。)

【特別企画】「笑いヨガ」

●日程 2月20日(火)

●対象 どなたでも(申込不要)

●利用料 300円

●持ち物 不要

※場所はいずれも「たんぼぼ」(鮎貝神明町「陽光学園グループホーム陽だまり」西側)です。

【問い合わせ・事務局】

支えあう地域づくりなないろの会

平泉 ☎85-0143 / 橋本 ☎85-3676

☎86-0212

子育て支援係

■問い合わせ 健康福祉課

▼相談料 無料

(山口・喜多楼隣)

1階相談室及び「K's space」

▼場所 健康福祉センター

▼時間 午後4時～7時

♡3月の開催日

3月14日(水)

♡2月の開催日

2月14日(水)

♡2月の開催日

《婚活応援室》

御法要・各種宴会

大好評

弁当・オードブル 仕出し



幹事さんに大好評

2時間飲み放題コース

(ご予算に応じて、ご相談ください)

(カラオケ サービス)

*町内どこでも送迎無料

弁当 ¥1000～

無料配達いたします

道の駅白鷹やな公園 あゆ茶屋

TEL 0238-85-5577 FAX 0238-85-5640

冬の交通安全

ゆとりをもって、ゆっくりスピードで冬道を安全に！
積雪や路面凍結、悪天候の視界不良など道路環境が悪化し危険性が増す時期

●道路わきの雪山や悪天候による視界不良に要注意！

- ①道路を横断するときは見通しの良い所を選び、しっかり確認して“ゆとり”をもって横断しましょう。
- ②雪山の陰からの歩行者の飛び出しに注意し、ゆっくりスピードの運転を心がけましょう。
- ③冬道は「滑りやすい」「見えにくい」「わだちができる」「道幅が狭くなる」等の危険が続きます。歩行者もドライバーも気を引き締めて交通事故防止に努めましょう。

●踏切事故要注意！

- ①踏切の手前では、必ず一旦停止し、安全を確認してから渡ってください。特に、冬季間は路面凍結によるスリップに備え、踏切手前では十分に減速しましょう。また、積雪などにより踏切が確認しにくい場合があります。誤って線路に進入しないよう、はっきり確認してから通行し

てください。

- ②警報機が鳴ったら、踏切内への無理な進入はやめてください。
- ③踏切の中に閉じ込められた場合は、そのままゆっくり車を前進させてください。(遮断棒は、車で押せば前方に跳ね上がります。)
- ④踏切内で動けなくなった場合(脱輪等)は、まず列車を止めてください。
 - ・非常ボタンがあるときは、カバーの上から強く押してください。信号機が作動し、列車に異常を知らせます。
 - ・非常ボタンがないときは、列車に向かって大きく手を振るなどして危険を知らせてください。発炎筒や赤色の物を使用すると効果的です。
 - ・列車が停止した後、付近の人等の協力を得て脱出してください。

※脱出後は、最寄の駅に連絡してください。

★被害にあわないためには…


- ・取り合わない!
- ・スプを見せない!
- ・惑わされない!
- ・流されない!

●不安や疑問を感じたら…
家族や警察にすぐ相談!

●騙されていませんか?
いまの電話・その訪問・請求メール
「私はたまされない」など過信は禁物!

詐欺被害に注意!

巧(た)みな話術で
お金をだまし取るよ!



町民課暮らし環境係 ☎ 85-6131 / 長井警察署 ☎ 84-0110 / 白鷹西駐在所 ☎ 85-2029 / 白鷹東駐在所 ☎ 85-2046

広告

看護師・准看護師・作業療法士・精神保健福祉士 募集



医療法人 杏山会
吉川記念病院

小児科・内科・精神科
児童精神科・老年精神科
神経内科・リハビリテーション科

〒993-0075 長井市成田 1888-1

4月1日より新しく 熊澤 豊 医師が入職され、診療体制が充実しました。
専門は消化器内科ですが、内科一般幅広く対応いたします。
診察日は月・火・水・木曜日の9時～12時、14時～17時です。
診察(新患も可)をご希望の方は、随時お受けいたします。

☎ **0238-87-8000**



情報アラカルト Information

インフォメーション

募集

平成30・31年度
国有林モニターの募集

農林水産省林野庁東北森林管理
局は、国有林の管理・経営に
国民の皆様の声を役立てていく
ため、「国有林モニター」を募集
しています。

▼募集人数 48名程度
▼募集期間 2月9日(金)ま
で(当日消印有効)

▼任期 2年間(平成30年4月
〜平成32年3月)

▼内容 アンケートへの回答、
現地見学会・国有林モニター会
議への出席など

※応募資格、応募方法など、詳
しくはホームページ(<http://>

www.rinyama.f.go.jp/tohoku/
をご覧ください。お問い合わせ

■問い合わせ 東北森林管理局
企画調整課林政推進係

☎018-836-2228

[FAX]018-836-2031

お知らせ

行政困りごと相談所を
開設します

行政機関に関する苦情・要望
などお気軽にご相談ください。
秘密は厳守し、無料です。

▼いつ 1月24日(水)

午後1時30分〜3時30分

▼どこで 老人福祉センター

▼担当者 行政相談委員

樋口久子さん ☎85-4574

田中恵治さん ☎85-4120

■問い合わせ

山形行政監視行政相談センター

☎023-632-3113

白鷹町民課 ☎85-6131

平成30年度指名競争入札参加資
格審査申請の追加受付について

平成30年度の建設工事、測量
・建設コンサルタント等の指名
競争入札に追加で参加を希望さ

国道348号白鷹トンネル周辺の 交通安全対策について

事故が相次いでいる国道348号白鷹トンネルの白鷹町
側出入口付近について、西置賜地域振興局では、下記
の対策を講じながら交通安全に取り組んでいます。

今後実施予定の工事の際にも、白鷹トンネル前後で通
行規制が行なわれますので、皆様にはご迷惑をおかけい
たしますが、通行時にはご協力をお願いいたします。

●既に行ったもの

[平成29年9月〜11月]

- ・トンネル内の全て及び南陽市側のトンネル外にもセン
ターポールを増設。
- ・反射材の増設、注意喚起看板の設置。
- ・出入口付近140m程度について、滑り止め対策として
路面を切削。

●今後実施予定のもの

平成30年度に、出入口付近180mについて一部凍結
抑制機能を持つ舗装に打換え(工事は5月連休後の予定)。

その他、トンネル内の反射材の増設や段差舗装による
注意喚起対策など。

なお、国道348号は、交通安全対策のため速度規制や
はみ出し禁止区間の拡大なども行なわれていますので、
交通ルールを守り、雪や凍結した道路等に注意するなど、
安全運転に心がけましょう。

長井クリーンセンター からのお知らせ

2月5日(月)からごみを直
接持ち込まれたときの計量と手
数料の支払い方法が変わります。

計量所に備え付けられたカー
ドを使用して、持ち込まれた方
自身に計量から手数料支払いま
で行っていただくことになりま
す。

詳しくは、長井クリーンセ
ンターまでお問い合わせいた

いきいき百歳体操と 茶話会のご案内

いきいき百歳体操は、椅子に
座ったり支えにしたりして、テ
レビ体操のように映像を見なが
ら進めます。誰にでも気軽に

だくか、置賜広域行政事務組
合ホームページ([https://www.
okikou.or.jp/](https://www.okikou.or.jp/))をご覧ください。

■問い合わせ 長井クリーンセ
ンター管理係 ☎84-6911

長井税務署からのお知らせ

2月16日(金)から確定申告が始まります。

申告期限が近づくと大変込み合いますので、早めの申告をお願いします。

また、申告書作成会場は大変混雑し、長時間お待ちいただく場合があります。国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」を利用いただき、印刷して郵送等による提出をお勧めします。

なお、期間中は税務署周辺道路の渋滞を避けるため、なるべく公共交通機関等をご利用ください。

●開設期間 2月16日(金)～3月15日(木)
※会場開設前は、申告書作成会場を設置していません。

※土・日曜日は開設していません。

●注意事項 会場では、「手引き」や「パソコン」を利用して、ご自身で申告書を作成していただいております。譲渡所得や贈与税については、担当者が不在になる日もありますので、事前に電話にて確認をお願いします。

【問い合わせ】長井税務署 ☎84-1810

無料税務相談

東北税理士会長井支部では、「確定申告期及び税理士記念日」に無料税務相談を行います。相談を希望される方は、事前に電話での予約をお願いします。

開催日	担当税理士 電話番号	場所
2月7日(水)	金田和夫 ☎88-9159	長井税理士法人 長井市館町南10-57
	須貝周一 ☎84-2505	須貝税理士事務所 長井市新町14-29
	長沼安義 ☎72-2400	長沼税理士事務所 飯豊町大字椿3596-3
2月8日(木)	仁科孝 ☎88-5601	仁科税理士事務所 長井市台町23-20-1
	坂本英俊 ☎080-5570-6903	坂本税理士事務所 長井市台町4番8号
	植木英夫 ☎84-2505	須貝税理士事務所 長井市新町14-29
2月9日(金)	渡邊美津夫 ☎87-0057	渡邊税理士事務所 長井市台町4番8号
	奈良崎幸司 ☎84-2505	須貝税理士事務所 長井市新町14-29
	海老名信乃 ☎85-4548	海老名税理士事務所 白鷹町大字十王3740
2月23日(金) 税理士記念日 の無料相談	全会員	各税理士事務所及 び長井税理士法人

※相談時間は、午前10時～午後3時です。

き、ひざや腰がどうも…という方も体の状態に合わせて行うことができます。

▼いつ 2月1日～4月22日の毎週木曜日 午前9時30分～11時30分

※初回のみ午前9時～11時50分

▼どこで 東根地区コミュニティセンター

▼内容 体操と茶話会

▼持ち物 ズック

▼会費 1回200円(茶菓代等)

■問い合わせ
東根地区コミュニティセンター
☎85-2228

支えあいの地域づくりなないろ

パソコン教室のお知らせ

の会(平吹)
☎080-5221-0942

【ワード入門講座】
▼いつ 2月13日(火)・14日(水) 午前10時～昼12時、午後1時30分～3時30分(合計8時間/2日間連続講座)

▼内容 ワードを使って、文書やチラシの作成をきれいに効率よく作成する方法を学びます。

【エクセル入門講座】
▼いつ 2月20日(火)・21日

(水) 午前10時～昼12時、午後1時30分～3時30分(合計8時間/2日間連続講座)

▼内容 エクセルを使って、表作成の基本を学びます。予算書・決算書の作り方など地域の役員さんが役立つ内容満載です。

【共通】
▼どこで 白鷹町総合情報センター マルチメディア教室

▼定員 各5名(白鷹町民限定)

※応募多数の場合は抽選になります。

▼受講料 無料

▼応募締切 1月25日(木)

■申し込み・問い合わせ

家畜の定期報告をお願いします

日本・アルカディア・ネットワ
ーク株式会社 ☎84-5711

家畜伝染病予防法により毎年2月1日現在の頭数等の報告が義務付けられています。

次の動物を1頭・1羽でも所有する方は報告をお願いします。

▼報告の対象 牛・水牛・鹿・めん羊・山羊・豚(ミニブタ含む)・イノシシ・馬(ポニー含む)・鶏(烏骨鶏・チャボ含む)・うずら・あひる・キジ・だち

よう・ほろほろ鳥・七面鳥
※ペット、学校等や公園での飼育も含まれます。

新しく家畜の飼養を開始した方、あるいは中止した方、また、飼養しているのに報告用紙が届かない方は、必ずその旨を電話でご連絡ください。

前年に報告された方には、報告用紙が1月末に郵送で送付されますので忘れずに提出してください。

■問い合わせ 置賜家畜保健衛生所
☎0238-43-3217
FAX 0238-43-5249



団員募集

平成30年度



▲「光で遊ぶ」の授業ようす

いつ 通年(月2回)
 ▼参加料 月1500円
 ▼講師 渡辺久美さん、
 てるいひろえさんほか
 ▼募集期間 4月30日まで
 ※ただし、定員(約10名)に達
 し次第締切。

▼申し込み あゆーむまで
 ▼対象学年 新・小学2〜6
 年生
 アートキッズ団では、様々
 な造形活動を通して造る楽し



▲工作のようす

友情を育むことをねらいとし
 て活動しています。見学・途
 中入団も随時受け付けていま
 すのでお気軽にお問い合わせ
 ください。

さや 飲
 びを 体
 験し、
 創造性
 を豊か
 にし、
 また仲
 間の
 連携や

五十川満写真展
世界一美しい猫たち



▲撮影・五十川 満

いつ 1月21日(日)まで
 午前9時〜午後5時
 ▼休館日 1月15日(月)
 ▼どこで ギャラリー
 ▼観覧料 一般個人300
 円、高校生以下無料
 ▼主催・問い合わせ
 白鷹町文化交流センター

第41回
うたごえ喫茶あゆーむ

いつ 1月28日(日)午後
 1時30分開始(12時45分受付
 開始)

▼どこで ホール
 ▼出演 荒川一美さん、飯
 沢道子さん、五十嵐啓子さん、
 小林真由美さん、佐藤朝子さ
 さん、志鎌典子
 さん、長谷川
 悟さんほか

▼前回は、休憩後に体を動
 かしながら歌いました。毎
 回恒例となったイントロ
 クイズや、歌詞の解説も。



白鷹町文化交流センターAYU:M

[TEL] 85-9071 [FAX] 85-9072
 [E-mail] shirataka@ayu-m.jp
 [URL] http://www.ayu-m.jp/

開館時間

午前9時〜午後5時 ※夜間のご予約がある
 場合は午後10時まで(ギャラリーを除く)。

平成30年2月までの休館日

1/15(月)・22(月)・29(月)
 2/5(月)・13(火)・19(月)・26(月)

▼会費 500円
 (ワンドリンク付き)
 ▼定員 80人
 (定員になり次第締切り)
 ▼申し込み あゆーむまでお
 申し込みください。

白鷹町総合型地域
スポーツクラブ通信

RO*KUを楽しもう

Vol.67

2つのスキー教室開催
「ジュニア・アルペン」
スキー教室

〜リフトに乗って滑ろう〜

いつ 1月20日(土)

1月27日(土)

午後2時
〜4時



▼対象 小学校1年生から
 3年生までの初心者
 ▼持ち物 スキー用具一式
 ▼参加費 1日2000円
 ▼定員 10名

「クロスカントリー」
スキー教室

〜コツを覚えて速く滑ろう〜

いつ 1月20日(土)

午後1時〜3時

2月10日(土)

午後2時〜4時

▼対象 経験者、スキー大会
 出場者等
 ▼持ち物 クロスカントリー
 スキー用具一式
 ▼参加費 1日1000円
 ※どちらのスキー教室も会場

は、白鷹町営スキー場です。
 グレンデ、クロスカントリース
 キーコースの2か所に分かれて
 の指導になります。

お申し込みは、ゆめスポしら
 たか「RO*KU」事務局へ
 参加費は当日いただきます。

◎RO*KUけんこう塾

〜閉じこもりがちな冬〜
 平日の午前中に軽い運動で
 1日をスタート!

仲間と一緒に楽しく健康づ
 くりを始めませんか?
 初めての方大歓迎!

いつ 毎週火曜午前10時〜
 ▼場所 中央公民館
 ▼対象 大人・シニア

※1月16日、1月30日、2月
 6日は、3B体操、1月23日、
 2月13日はストレッチになりま
 す。

問い合わせ・申し込みは
 すべて事務局まで



白鷹町総合型地域スポーツクラブ
 ゆめスポしらたか
 ロック
 「RO*KU」会長 岡田 明
 (白鷹町武道館内)
 tel.87-8988
 E-mail rokku@sgic.jp
 ホームページ
 「ゆめスポ
 しらたか」
 で検索。または、



戸籍の窓

【12月1日～12月31日 届出】

ご結婚おめでとう

氏名 住所

大瀧 大輝 山口
高橋 麻里 栃木県

こんにちは赤ちゃん

住所 父母の名 子の名

鮎貝 平山	晶 瑞姫	の 望
十王 迎田	慎 太朗 絵 里	悠
鮎貝 迎田	和 人子 文 子	お 音
畔藤 衣袋	佳 太結 花	花 蓮

おくやみ

住所 氏名 年齢

山口	田勢 嘉重	96
十王	橋本 えい	87
滝野	海老名 いせ	86
箕和田	小口 孝吉	90
鮎貝	井上 六朗	90
畔藤	青木 常子	80
畔藤	布施 マサエ	96
荒砥乙	青木 正一	59
横田尻	丸川 ヨネ	85
高岡	樋口 宏太	86
十王	板谷 つねよ	97
横田尻	菅 正男	86
萩野	竹田 忠吾	86
十王	原田 幸男	92
萩野	安部 秀雄	67
荒砥乙	塚原 はな	86
萩野	竹田 てる	90

戸籍の窓に載せたい方は、届出のときに戸籍年金係にお申し出ください。



山形テレビが主催する「山形ふるさとCM大賞」の審査会が11月14日、山形テルサアプローズで行われました。
県内35市町村の「ご当地CM」



今までになかった人形劇仕立ての演出で、コミカルな15秒CMになっている

第18回山形ふるさとCM大賞 白鷹町作品
「ベニバナつみ すけどごやい」



が集うこの企画も、今回で18回目。今年の白鷹町は「ベニバナつみ すけどごやい」を作品テーマとし、白鷹町が「日本の紅(あか)をつくる町・紅花生産日本一」であることをさらにアピールすると同時に、「紅花摘み」のお手伝いまで募集してしまおうという作品を制作しました。
審査の結果、残念ながら入賞とはなりませんでしたが、審査員からは「絵がステキで、音楽にも合っている」と好評を受けました。
なお、作品は町ホームページまたは動画共有サービス「YouTube(YouTube)」でもご覧いただけます。



— 表紙の写真 —

毎年、はるか遠くシベリアから越冬のために白鷹町にやってくる冬の使者「白鳥」。エサを求め、町内の水田などに飛来します。
白鷹町からシベリアまでの距離は約3,000～4,000kmで、気候が暖かくなり始める春先になると、再び長旅へと出発していきます。
白鳥が白く大きな羽を広げ、集団できれいなV字に並んで飛ぶ姿は雄大で、まさに白鷹町の冬の風物詩です。



お詫びと訂正

平成29年12月21日に全戸配布しました【白鷹町土砂災害避難地図】における白鷹町が指定する避難所・連絡先の欄において、「文化交流センター」の住所に誤りがありました。下記のとおり訂正してお詫びします。

(誤) 鮎川 7331 → (正) 鮎貝 7331

「地域おこし協力隊が見つけた」

しらたかの鉄人! 達人!



①甘さと酸味が絶妙な勇太さんのりんご ②赤と黄と緑のコントラストが青空に映える。癒しの空間でもあるりんご畑 ③勇太さんがコーチを務める「しらたかFCホークス」。主に6年生を指導しており、これまで数々のタイトルを勝ち取ってきた



「りんご農家」

浅野 勇太さん (貝生・41歳)

「人と人との繋がりつなの大切さ」

「(りんごが)なる」のではなく、(りんごを)「ならせる」と子どもを育てるように木一本一本に手をかけ、りんごの栽培をしている勇太さん。平成23年に白鷹町に移り住み、朝日町で1年間の研修を受けた後に独立。朝日町で就農し5年、今年度から白鷹町でも畑を手掛けるようになりました。

前職は理美容師と建設業というまったく異なった業種からの就農でしたが、「顔の見えるつながりを大切にしてきた」と理美容師時代に培ったコミュニケーション能力と営業力、建設業で得た技術を発

揮し、自ら重機を操縦して1畝の耕作放棄地を開墾して苗木を植えるなど、今までの経験を農業に生かしています。

また、町内のサッカースポーツ少年団でコーチもやっており、親同士のつながり作りにも積極的に参加しています。「子どもから学ぶことも多いし、スポ少をやっていることで地域とのつながりができているのは自分から待っているのではなく、自分から行動して広げていきたい」と勇太さん。「他に達人たくさんいるよ。俺なんかまだまだ。」と謙虚に話すその眼は、輝きに満ちていました。

どんなにハードな作業をした後でも、収穫がピークのときに陽が昇る前から夜が更けるまで作業した後でも、翌日には人1倍いきいきしていて、とにかくタフでまさに鉄人。勇太さんのりんごはリンゴジュースを食べている感覚で衝撃を受けました。



地域おこし協力隊
澤邊 聖さん

▼あけましておめでとうございませう。広報担当として迎えた3回目の新年。昨年も取材などを通していろんな人と出会い、たくさんの人に支えられました。お世話になった皆さん、本当にありがとうございます。今年も皆さんの役に立つ広報誌をお届けすることで、少しでも恩返しができるようにがんばります。

▼お正月の風物詩と言えば「箱根駅伝」。一本の襷(たすき)に思いを込めて、今年も数々のドラマが生まれました。私の母校も久しぶりのシード権獲得と大健闘し、私自身また目標に向かってがんばろうという気持ちになりました。

▼誰かの活躍は、別の誰かを元気づけたり、勇気づけたりと、何かしらの影響を与えます。今年は昨年以上に町民の皆さんの活躍を広報誌などで発信していければと思います。

▼さて、2018年は戌年(いぬどし)です。今年一年が皆さんにとって「ワンダフル(すばらしい)」な年になるよう、心よりお祈りいたします。本年も「広報しらたか」をどうぞよろしく願っています。

(つづか)

